

会 議 録

| | | |
|---|---|---------------|
| 会議の名称 | 令和5年度第2回上尾市図書館協議会 | |
| 開催日時 | 令和5年11月27日（月）午後1時30分から午後2時50分まで | |
| 開催場所 | 上尾市図書館本館2階 集会室 | |
| 議長(委員長)氏名 | 代島常造 | |
| 出席者(委員)氏名 | 須賀聡、岸清俊、加藤寛子、代島常造、清水松代、高村裕美、村上篤太郎 | |
| 欠席者(委員)氏名 | 近藤博昭、山田浩一、廣美穂、宮内礼子、大谷内久美子 | |
| 事務局(庶務担当) | 山内館長、正木副主幹、久我副主幹、高橋主査、吉川主査、鈴木主任、若林主事 | |
| 会 議 事 項 | 1 議 題 | 2 会 議 結 果 |
| | (1) 報告 ①令和5年度上尾市図書館事業概要（中間報告）について ②令和5年度図書館まつりについて (2) 議題 図書館本館更新方針（骨子）について | 別紙「議事の経過」のとおり |
| 議 事 の 経 過 | 別紙「議事の経過」のとおり | 傍聴者数 1名 |
| 会 議 資 料 | 資料1 第3次上尾市図書館サービス計画の事業計画及び進捗状況報告書 資料2 令和5年度図書館まつりについて 資料3 図書館本館の更新方針（骨子）について | |
| 議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和5年12月17日署名済み _____ 議長（委員長）の署名 </div> | | |

議事の経過

| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
|-----|---|
| 事務局 | 報告1 令和5年度上尾市図書館事業概要（中間報告）について |
| 事務局 | 報告2 令和5年度図書館まつりについて |
| 議長 | 報告①及び②について意見、質問はあるか。 |
| A委員 | <p>多岐にわたりしっかり取り組んでいると感じる。</p> <p>図書館サービス計画の進捗状況報告書の「自己評価の基準」についてであるが、これは5段階評価を百分率に置き換えたものを積み上げ方式にし、毎年度公表しているものと思われるが、これを0から4の評価に対し互換表で提示するとともに分かりやすいのでは。</p> <p>もう一点、計画項目1.1の電子図書館についてであるが、実際にネットで上尾市電子図書館を検索してみたところ、ページを開くと洋書がトップにあがっている。上尾市の電子図書館であるのだから日本語の資料をトップに配置する方が市民は使いやすいと感じる。システム変更を検討してみてはいかがか。</p> |
| 事務局 | <p>「自己評価の基準」については、次回の評価までに改善を図る。</p> <p>電子図書館はまだまだ発展途上である。今後改善に向けて取り組む。</p> |
| B委員 | <p>サービス計画の進捗管理一覧「基本方針全体」の総合評価の中に「市民意識調査及び先進都市の事例を研究」とあるが、どのように取り入れているのか。</p> <p>また、図書館まつりの参加者は、事前募集によるものか、当日募集なのか。図書館まつり全体の参加者の把握はしているのか。例えば展示の人数は把握しているのか。</p> |
| 事務局 | <p>「市民意識調査」はモニタリング調査を実施しており、この結果については今年度のサービス計画の目標に反映している。「先進都市の事例」については、テーマをもって取り組んでいる中で、予算が必要な内容であれば、次年度以降の目標に反映させるものとし、今現在は頭出しとしての参考にしている。</p> <p>図書館まつりの参加人数は実績人数である。展示（を見ていただいた人）の人数は把握しておらず、今後の課題としたい。（展示以外の）全体数は資料2の参加人数を足したものである。</p> |
| B委員 | <p>「市民意識調査」は図書館利用者を対象としているのか。全市民を対象に行う調査において図書館のことについての質問項目を設けるなどの対策は取っていないのか。</p> |
| 事務局 | <p>市民全体に向けての「市民意識調査」は当市では5年に1回行っている。今回の調査では本館更新の件もあるため、図書館に関する設問も設けている。</p> |
| A委員 | <p>計画項目1.6の令和5年度実施状況(2)に「不確定要素がある」と記載があるが、どのような内容か。</p> <p>また、広報の方法について、例えば、計画項目2.7に「法律講座の実施」と記載されているが、このことについて、ホームページでの案内が一切なかった。全体的にホームページの更新が遅いと感じる。タイムリーに更新したほうが、市民への情報提供として効果的と考えるが、いかがか。</p> |
| 事務局 | <p>「不確定要素」については、事務処理要領に関するガイドラインがまだ定まっ</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>ていないことが理由である。国、県の動向や近隣の図書館の動きをみながら慎重に取り組むものと考えている。</p> <p>広報（ホームページ）については、講師との打ち合わせが直前までできなかつたためタイミングを逃した。早めの対応に努めたい。</p> |
| 議長 | <p>ホームページの掲載は基本的なものであり、更に現代は SNS など別の媒体で念押しをする時代である。</p> |
| C 委員 | <p>図書館まつりの時の缶バッジがとてもかわいい出来栄であった。これは各図書館のマスコットがモデルになっていたように見えたがどのようなものか。</p> |
| 事務局 | <p>缶バッジは図書館まつりに参加していただいた方にお渡ししたもので、りんごの棚やオーディオブック、各分類のデザイン、さらには読書パスポートの各分館のキャラクターのデザインを使用し図書館オリジナルで作成した。</p> |
| 議長 | <p>本議題については、以上でいいか。</p> <p>(異論なし)</p> |
| 事務局 | <p>議題 図書館本館更新方針について</p> |
| 議長 | <p>議題について意見、質問はあるか。</p> |
| D 委員 | <p>環境アドバイザーとして質問する。この建物を取り壊すことなくリノベーションするという認識でよいか。</p> |
| 事務局 | <p>お見込みのとおり。</p> <p>躯体を生かしつつスケルトンにする手法を考えている。この考えは 2030 年に迫っている SDGs の目標達成をも見据えており、早々に環境にやさしい設備に置き換えていく必要があるということ、もう一つは産業廃棄物の発生を最小限に抑えたいという目論見を踏まえている。</p> |
| D 委員 | <p>建物の環境省エネ化の基準が高くなっている。新規に建物を建設する場合は簡単にクリアできるが、既存のものを作り替える場合はクリアするのは大変なことである。さいたま市では、公共施設はオール電化や太陽光パネルの設置について高い基準が設けられているが、上尾市ではそのような基準がない。図書館のリニューアルが先駆けでそれらを設置し、他の公共施設の目標となるような施設ができるかというと思う。特に省エネに最も影響を及ぼすものが耐熱の問題と言われている。このことから窓ガラスについてはよくよく調査したほうがいい。</p> |
| 事務局 | <p>さいたま市に限らず新しい環境整備として、ZEB などが取り入れられている。リノベーションとしてどこまで対応できるか未知数であるが、窓のことや照明関係の改善は当然図っていく。また、太陽光パネルについては現状、耐荷重の問題、屋上防水加工を破損してしまうという問題がある。大規模改修であればこれらも含めて専門家に確認しながら採用していきたいと考える。</p> |
| E 委員 | <p>資料 6 ページにスケジュール表があるが、引っ越し作業など具体的な動きはいつから始まるのか。</p> |
| 事務局 | <p>この資料で示しているのはあくまで概要である。上尾市公共施設等総合管理計</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>画の中で図書館本館は 2030（令和 12）年までに完了することが計画として掲げられており、これが最終目途である。当該資料のスケジュールで示しているものは最速で進められる場合の内容である。</p> <p>2024（令和 6）年に予算要求とあるのは、躯体調査など行動計画を作成するためのものであり、実際の設計はこの後になる。</p> |
| E 委員 | <p>実際の設計後、移転し、利用者はそこを仮図書館として利用することになるのか。</p> |
| 事務局 | <p>図書館としては、そのように考え、仮本館という計画を立てている。それができない場合、休館という措置になってしまう。</p> <p>大きな手順として、まず、仮本館の場所を決める。次に、仮本館の整備を行う。その上で、一度仮本館に移転する。平行して本館の整備をする。</p> |
| E 委員 | <p>それらの結果が 2030 年までに本館オープンすることになるのか。</p> |
| 事務局 | <p>2030 年までには遅くとも全てを終わらせる。これは SDGs の目標年度にも合致すると考えている。</p> |
| B 委員 | <p>そもそもこの更新方針の骨子が議題に上がっているが、どこを協議してもらいたいのか。</p> |
| 事務局 | <p>図書館としては更新方針としてこの概要の内容で進めていきたいと考えている。この骨子の内容について全体的な意見をいただき、その上で、方針策定の作業を進めたいと考えている。</p> |
| B 委員 | <p>今までの動きの中で、すでに固まった事項もあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>更新方針の策定作業は今年度末まで行う予定であり、そこまでの間、図書館協議会の委員の意見をも取り入れ、最終的な更新方針の策定を目指すものである。</p> |
| 議長 | <p>この資料の他に、更新方針の冊子があるはずで、それを策定するための意見聴取の場である。全体的なこと、個別的なことの意見やあるいはこの内容でよいという意見でもいい。</p> |
| A 委員 | <p>地下を掘り下げ書架にすることは可能か。また、この更新方針の件は教育委員会や市長部局においてどのあたりまで内諾、承認を得ているのか。</p> |
| 事務局 | <p>まず、地下のことについては、現在、閉架書庫として使用しているが大規模改修においては躯体を生かすということであるので、拡張は難しいと考える。</p> <p>内部調整については、個別施設管理基本計画等評価委員会といって市長を議長とする会議があるが、この会議の中ではおおむねこの骨格でいいのではないかとされている。ただし、仮本館については、コストもかかることから休館がいいのではないかという意見もあり、全てをまとめきれていない。リノベーションを選択したことは理解され、仮本館についてはもう少し検証が必要であると結論付けられている。</p> |
| 議長 | <p>「いいのではないか」とは正式に承認されたという認識でいいか。</p> |
| 事務局 | <p>難しい質問である。骨子としては「いいのではないか」ということであり、最終形の冊子としての完成時の文言全てにおいて OK というわけではない。大きな方向性としては問題ないと理解されたと認識している。但しその中で、仮本館の</p> |

| | |
|------|--|
| C 委員 | <p>取扱いをどうするか、休館なのか公共施設を間借りするのか、どこかの場所を整備してそこでサービスを続けるのかさらに詰める必要がある。</p> <p>仮本館を考えているとのことであるが、本館リノベーションが終わったのちにそこを分館として活用するのはいいと感じる。規模を縮小してもいいから上尾駅や北上尾の駅の近くに分館があるといいのではないかと考える。</p> <p>リノベーションとは既存の施設に新たな価値をつけ、従来のものよりもより良いものにしていくということであると考え、今回のリノベーションの目玉は何か。</p> <p>また、資料4ページ下段に「長年の課題が解消」とあるが、市民が何を課題と感じていると認識しているのか伺う。</p> |
| 事務局 | <p>リノベーションの目玉は、現状では付加できないサービスを取り入れることができること、また、躯体だけを残し可能な限りスケルトンの状態にすることでレイアウト変更が可能であり、さらにその自由度は上がる。これにより市民の求める「居心地の良い空間」のスペースを生み出すことができると考える。</p> <p>市民の課題意識については、先般の利用者アンケートによると、施設全体の拡張を求める声は当然あるが、一方で既存のままで充分であるという意見も同じぐらいある。その他、市民ワークショップの意見を集約すると、5グループ共通の意見としてあげられている授乳スペースや自動貸出などのスペースは、リノベーションによりスペースの確保が達成できるものと考え。</p> |
| C 委員 | <p>本館更新はリノベーションの方向に進みつつあるという認識でよいか。とすると、資料3ページの下段「公共施設等適正管理推進事業債の活用」とあるが、これは何か。</p> |
| 事務局 | <p>行政的な内容になるが、これは国の財政措置であり、これを活用することで財政支出の軽減に繋がられるのではと考えている。</p> |
| F 委員 | <p>資料4ページ、「市民座談会」はどのようなメンバーで構成されたのか。</p> |
| 事務局 | <p>事前に公募を行い、申し込みされた市民がメンバーである。上平地区新図書館建設に賛成意見の方、反対意見の方、まったく新規の方など様々であった。</p> |
| F 委員 | <p>公募で集まった方々ということで良いか。</p> |
| 事務局 | <p>その通りである。</p> |
| A 委員 | <p>1点目、電気自動車の充電設備を取り入れる考えはあるのか。</p> <p>2点目、スケルトンという説明があったが、隣のお墓が丸見えになるのはいかかと感じるどのようにする予定なのか。</p> <p>3点目、仮本館について、桶川駅前の中の書店に併設された図書館があるが、上尾も駅前の丸広やイトーヨーカドーがあるのでそこを活用することはできないか。利便性および図書館リニューアルのアピールの場としてもいい場所と考えるがいかがか。</p> |
| 事務局 | <p>1点目、今回の方針では、「いつ、どこで、どのようにやるのか」を決める。その後、実施計画を策定する段階でEV設備なども含め設備やスペースについて考えていく予定である。</p> <p>2点目、スケルトンとは天井や配管などを全部取っ払って、躯体だけの状態にしたうえで組み直す工法のこと、シースルーとは意味が違う。</p> <p>3点目、仮本館の場所については、上尾駅前には丸広やイトーヨーカドー、北</p> |

| | |
|----|--|
| 議長 | <p>上尾駅にはPAPAがあることは当然認識している。</p> <p>なぜ、本館更新の計画の中でこのような民間施設を使用する話が出ているのかというと、まず、現本館の全機能をまるまる移せるだけの民間施設は、現状では存在しない。しかしながら、本館機能の一部としてであれば丸広やイトーヨーカドーも考えられる。これらについては必要に応じ交渉していくことになる。</p> <p>本議題については、特にないか。</p> <p>(異論無し)</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |
|----|--|